

経済・金融概況

[アルゼンチン]

1. 景気概況

4-6 月期の実質 GDP 成長率は前年比+2.7%と、前期（同+0.4%）から加速し、アルゼンチン経済は順調に回復している模様である。需要項目別の寄与度をみると、国内需要が引き続き拡大しており、個人消費が同+2.8%ポイント、投資が同+1.4%ポイントとなった。一方、純輸出については、輸出は増加傾向にあるものの、国内需要の拡大により輸入がそれ以上に伸びたため、寄与度は同▲2.5%ポイントと前期に続きマイナスとなった。

個別の経済指標をみても経済の順調ぶりが窺われる。鉱工業活動指数は 5 月に前年比+2.7%と 2016 年 1 月以来のプラスに転じ、足元では同+5%台で推移している。建設活動指数は 3 月から同+10%以上の高い伸びを維持している。

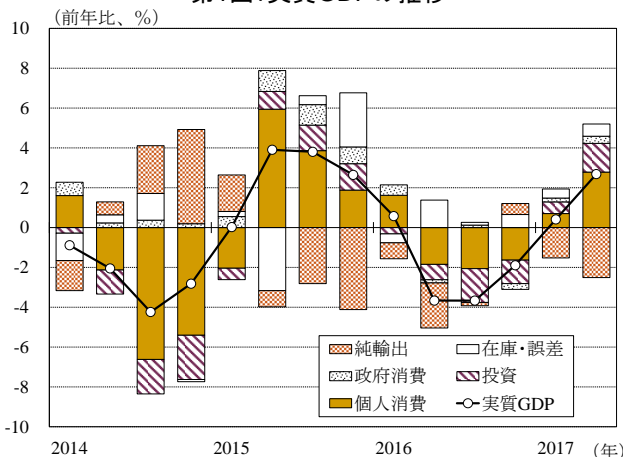
今後の注目点は、10 月 22 日に実施予定の議会選挙である。大方の予想では、マクリ大統領が政権を失う可能性はないとされているが、他の政党との協力は引き続き必要となる可能性が高い。マクリ政権は財政健全化・構造改革路線を歩んでいるが、他政党の合意を得つつ、国民の痛みを伴う改革を実施し続けることができるのか、真価を問われることとなる。

2. 物価・雇用

物価：前月比ベースの消費者物価上昇率は、金融引き締め政策により 5 月から+1%台で安定的に推移しており、8 月は+1.4%となった。前年比ベースでは、5 月以降+20%台前半と、昨年記録した+40%超からは改善している。

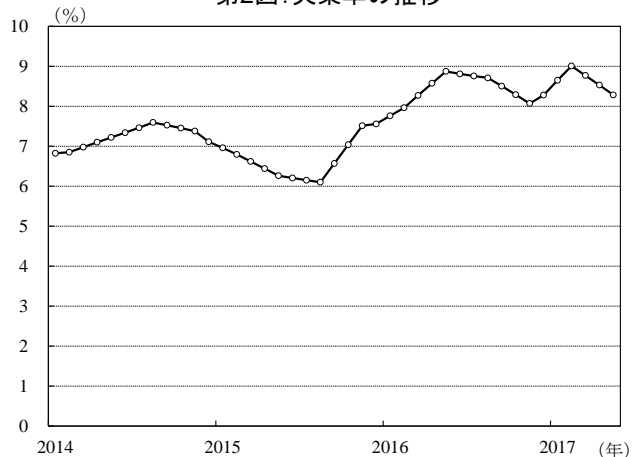
失業率：失業率は 2 月に 9.0%まで悪化し、その後はやや改善して 5 月は 8.3%となったが、依然として高い水準である（第 2 図）。

第1図：実質GDPの推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

第2図：失業率の推移



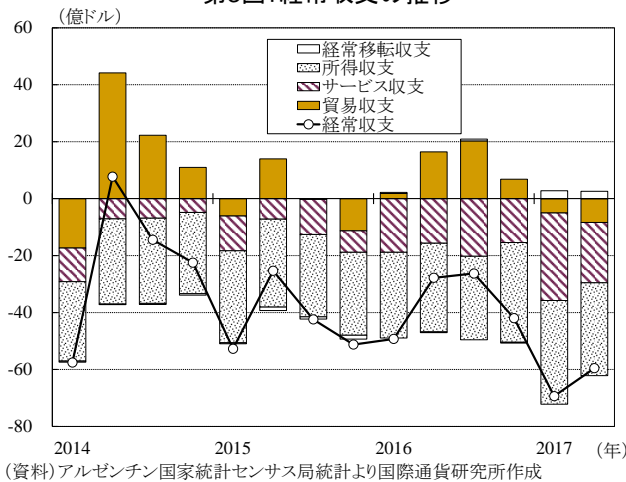
(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支、外貨準備高

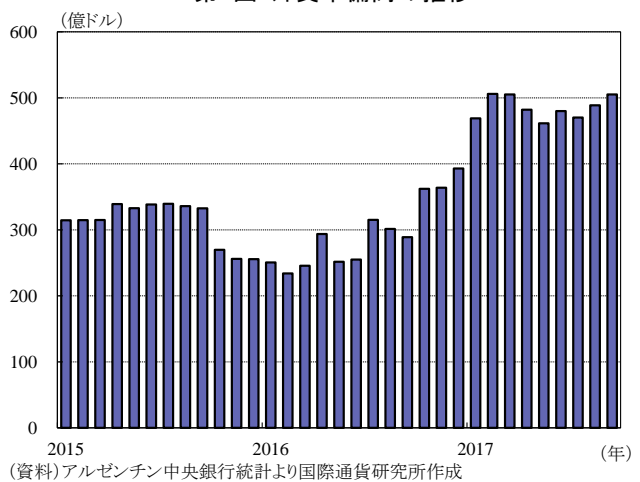
4-6 月期は貿易収支の赤字幅が前期から若干拡大したものの、サービス収支の改善により、経常収支は▲60 億ドルと前期（▲69 億ドル）から赤字幅が縮小した（第3 図）。

外貨準備高は9 月に505 億ドルと、直近ピークの2 月（506 億ドル）とほぼ同等のレベルとなり、依然として2011 年以來の高い水準を維持している（第4 図）。ただし、最大の輸出先であるブラジルの経済の本格回復が遅れていることから、貿易赤字が拡大し、再び外貨準備高が減少する可能性には留意が必要である。

第3図: 経常収支の推移



第4図: 外貨準備高の推移



4. 金融市場

為替：ペソの対ドル相場は下落傾向にあり、7月下旬には過去最安値（1ドル17.79ペソ）を更新した。足元も1ドル17ペソ台にて推移している（第5 図）。

株価：メルバル指数はアルゼンチン経済の回復を受けて上昇傾向にある。9月末には26,000 台に乗せるなど、連日のように最高値を更新している（第6 図）。

第5図: アルゼンチンペソ(対ドル)の推移



第6図: 株価(メルバル指数)の推移



アルゼンチン経済・金融概況

1. 年次

	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	2.3%	▲2.6%	2.4%	▲2.3%
鉱工業活動指数(前年比)	▲0.0%	▲1.8%	-	-
建設活動指数(前年比)	4.6%	▲0.4%	-	-
自動車生産台数(千台)	791	617	527	473
自動車販売台数(千台)	964	614	587	721
失業率	7.1%	7.3%	4.9%	8.5%
消費者物価上昇率(年末月・前年比)	11.0%	23.9%	26.7%	-
(年平均)	10.6%	-	-	-
輸出(FOB)(億ドル)	760	684	568	577
(前年比)	▲5.0%	▲9.9%	▲17.0%	1.7%
輸入(CIF)(億ドル)	744	652	598	556
(前年比)	9.5%	▲12.4%	▲8.4%	▲6.9%
貿易収支(億ドル)	15	32	▲30	21
対外準備(億ドル)(年末)	306	314	256	388
ベースマネー(億ペソ)(年末)	3,772	4,626	6,239	8,217
対民間非金融部門貸出量(億ペソ)(年末月)	5,085	6,167	8,385	10,881
(前年比)	31.2%	21.3%	36.0%	29.8%
経常収支(億ドル)	▲121	▲80	▲168	▲151
株価指数(メルバル指数)(年末)	5,391	8,579	11,675	16,918
対米ドル為替相場(年末)	6.5180	8.4645	12.9450	15.8250

2. 月次

	17年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実質GDP成長率(前年比)	┌	0.4%	┐	┌	2.7%	┐	┌	-	┐
鉱工業活動指数(前年比)	▲1.1%	▲6.0%	▲0.4%	▲2.6%	2.7%	6.6%	5.9%	5.1%	-
建設活動指数(前年比)	▲2.4%	▲3.4%	10.8%	10.5%	10.3%	17.0%	20.3%	13.0%	-
自動車生産台数(千台)	27	24	40	38	45	45	38	45	-
自動車販売台数(千台)	53	65	69	68	80	80	73	77	-
失業率	8.7%	9.0%	8.8%	8.5%	8.3%	-	-	-	-
消費者物価上昇率(前月比) INDEC	1.6%	2.1%	2.4%	2.7%	1.4%	1.2%	1.7%	1.4%	-
輸出(FOB)(億ドル)	43	39	45	48	54	51	52	52	-
(前年比)	9.7%	▲6.3%	2.6%	1.8%	0.8%	▲2.9%	5.2%	▲9.2%	-
輸入(CIF)(億ドル)	43	39	55	50	61	59	60	63	-
(前年比)	7.1%	▲2.3%	16.4%	13.8%	24.0%	15.4%	29.9%	24.9%	-
貿易収支(億ドル)(貿易統計ベース)	▲1	▲1	▲9	▲1	▲6	▲8	▲8	▲11	-
対外準備(億ドル)	469	506	505	482	461	480	470	489	505
ベースマネー(億ペソ)	8,279	8,147	7,548	7,959	7,571	8,331	8,323	8,384	-
対民間非金融部門貸出量(億ペソ)	11,103	11,251	11,415	11,701	12,168	-	-	-	-
経常収支(億ドル)(国際収支統計ベース)	┌	▲69	┐	┌	▲60	┐	┌	-	┐
株価指数(メルバル指数)(月末)	19,063	19,117	20,265	21,020	22,349	21,913	21,582	23,589	26,078
対米ドル為替相場(月末)	15.9020	15.4750	15.3800	15.4388	16.1363	16.6075	17.6900	17.3600	17.3675

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 矢口 満 mitsuru_yaguchi@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。